

学校コード F113110102719

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

事前相談

注2

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科

生命理工医療科学専攻（博士課程）

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

国立大学法人東京医科歯科大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 戦略企画部戦略企画課

職名・氏名 係長・鈴木 亜耶

電話番号 03-5803-5021

（夜間） 03-5803-5021

e-mail houki.adm@tmd.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医歯学総合研究科

＜生命理工医療科学専攻（博士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東京医科歯科大学

(2) 大学名

東京医科歯科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒113-8510
東京都文京区湯島一丁目5番45号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	タナカ ユウジロウ 田中 雄二郎 (令和2年4月)		
研究科長	ヨダ テツヤ 依田 哲也 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
歯科学総合研究科 生命理工医療科学専攻 博士(理学) 博士(工学) 博士(保健学) 博士(口腔保健学)	理学関係	3	25	2年次	75	-	
	工学関係			0			
	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)			3年次			
				0			
				4年次			
				0			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期															
A 入学定員	人 () []	0.60倍	-	0.60倍	-												
志願者数	() []																
受験者数	() []																
合格者数	() []																
B 入学者数	() []																
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.60					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	- [-] (-)	15 [4] (-)											
2年次	/		- [-] (-)										
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)					
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	15 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	マネジメント特論(日本語)	1通	1								兼4
	マネジメント特論(英語)	1後	1								兼3
	国際動向特論	1前	1								兼7
	知的財産特論	1後	1								兼4
	英語ディベート特論	1前・後	1								兼1
	英語プレゼンテーション特論	1前	1			1					兼2
	小計(6科目)	-		6		1					
専門科目	疾患生命科学特論	1通	2			5	2	1	1		兼1
	先端機能分子特論	1通	1			3	2		2		兼1
	機能分子開発技術特論	1通	1			3	3		3		
	機能再建材料学特論	1前	1			1					兼1
	組織再生材料学特論	1前	1			1					兼1
	生体機能材料学特論	1前	1			1			1		
	医用材料工学特論	1前	1			1			1		
	生体情報数理解析論	1前	1			1	1		1		
	理研生体分子制御学特論	1通	2			1					兼10
	病態推論特論	1後	2			1	1		1		
	高度臨床実践特別演習入門	1前	1			1			1		兼5
	高度臨床実践特別演習I	1通	2			1			1		兼1
	高度臨床実践特別演習II	2通	2			1			1		兼1
	疾患予防パブリックヘルス医学概論	1・2・3後	2								兼7
	臨床・遺伝統計学	1前	2								兼3
	先端口腔保健応用学特論	1通	2			3			1	2	
	先端口腔保健応用学演習	1通	1			2				2	
	先端口腔保健工学特論	1通	1			2	1	1	4		
	骨形態計測学特論	1通	1			1			1		兼2
小計(19科目)	-		27		18	12	3	17			兼31
先制医歯理工学科目 共通科目	先制医歯理工学概論I(日本語)	1通	1			2					兼3
	先制医歯理工学概論I(英語)	1後	1			1					兼4
	先制医歯理工学データサイエンス特論I(日本語)	1後	1								兼6
	先制医歯理工学データサイエンス特論I(英語)	1前	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論II(日本語)	1後	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論II(英語)	1通	1								兼3
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼1
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼2

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	マネジメント特論(日本語)	1通	1								兼4
	マネジメント特論(英語)	1後	1								兼3
	国際動向特論	1前	1								兼6
	知的財産特論	1後	1								兼4
	英語ディベート特論	1前・後	1								兼1
	英語プレゼンテーション特論	1前	1			1					兼2
	小計(6科目)	-		6		1					
専門科目	疾患生命科学特論	1通	2			5	3	1	1		兼1
	先端機能分子特論	1前	1			3	2		2		兼2
	機能分子開発技術特論	1通	1			3	2		3		
	機能再建材料学特論(未開講)	1前	1			1					
	組織再生材料学特論	1前	1			1			1		兼2
	生体機能材料学特論	1前	1			1			1		
	医用材料工学特論	1前	1			1			1		
	生体情報数理解析論	1前	1			1	1		2		
	理研生体分子制御学特論	1通	2			1					兼10
	病態推論特論	1後	2			1	1		1		
	高度臨床実践特別演習入門	1前	1			1			2		兼5
	高度臨床実践特別演習I	1通	2			1			1		兼1
	高度臨床実践特別演習II	2通	2			1			1		兼1
	疾患予防パブリックヘルス医学概論	1・2・3後	2								兼8
	臨床・遺伝統計学	1前	2								兼2
	先端口腔保健応用学特論	1通	2			3			2		
	先端口腔保健応用学演習	1通	1			2			4		
	先端口腔保健工学特論	1通	1			1	2		3		兼1
	硬組織研究・骨形態計測学特論	1通	1			1			1		兼2
小計(19科目)	-		27		18	12	2	16			兼33
先制医歯理工学科目 共通科目	先制医歯理工学概論I(日本語)	1通	1			2					兼3
	先制医歯理工学概論I(英語)	1後	1			1					兼4
	先制医歯理工学データサイエンス特論I(日本語)	1後	1								兼5
	先制医歯理工学データサイエンス特論I(英語)	1前	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論II(日本語)	1後	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論II(英語)	1通	1								兼3
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼1
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼2
	先制医歯理工学データサイエンス特論III	1前	1								兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
先制医歯理工学科目	共通科目	データサイエンス特論Ⅳ	1通	1							兼2
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1前	1		3			2		
		小計(10科目)	—	10		4			2		兼16
	先進医療デバイスIoT学専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1		2	1				兼1
		医療デバイス・システム機器特論	1前	1		5					兼1
		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1		1			1		兼4
		臨床検査法開発学特論	1前	1		3	2		1		兼1
		小計(4科目)	—	4		9	3		2		兼7
	疾患生命創薬科学専門科目	疾患分子病態学特論	1前	1		1	2				兼1
		先端ケミカルバイオロジー特論	1前	1		1	4				
		生体分子制御学特論	1前	1		1					兼4
		小計(3科目)	—	3		3	6				兼5
演習科目	センサ医工学演習	1通	6		1			1			
	バイオ情報演習	1通	6		1	1		1			
	バイオデザイン演習	1通	6		1						
	薬化学演習	1通	6		1	1		1			
	生命有機化学演習	1通	6		1	1		2			
	バイオメカニクス演習	1通	6		1			1			
	セラミックバイオマテリアル演習	1通	6		1					兼1	
	分子細胞生物学演習	1通	6		1	1		1			
	発生再生生物学演習	1通	6		1		1	1			
	分子構造情報学演習	1通	6		1	1		1			
	機能分子病態学演習	1通	6		1						
	生体情報薬理学演習	1通	6		1			1			
	疾患ゲノム機能演習	1通	6		1					兼2	
	ゲノム機能情報演習	1通	6		1	1		1			
	医化学演習	1通	6		1			1			
	理研生体分子制御学演習	1通	6		1					兼4	
	メディシナルケミストリー演習	1通	6		1	1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
先制医歯理工学科目	共通科目	データサイエンス特論Ⅳ	1通	1							兼2
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1前	1		3			1	1	
		小計(10科目)	—	10		4			1	1	兼15
	先進医療デバイスIoT学専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論	1前	1		3				1	兼1
		医療デバイス・システム機器特論	1前	1		4				1	兼1
		ウェアラブルIoT技術特論	1前	1		1			1		兼4
		臨床検査法開発学特論	1前	1		3	2		1		兼1
		小計(4科目)	—	4		9	2		1	2	兼7
	疾患生命創薬科学専門科目	疾患分子病態学特論	1前	1		1	1				兼2
		先端ケミカルバイオロジー特論	1前	1		1	3				
		生体分子制御学特論	1前	1		1					兼5
		小計(3科目)	—	3		3	4				兼7
臨床疫学科目	疫学基礎	1通	1							兼3	
	生物統計学基礎	1通	1							兼2	
	生物統計学応用Ⅰ	1通	1							兼5	
	生物統計学応用Ⅱ	1通	1							兼4	
	臨床試験方法論基礎	1通	1							兼1	
	臨床試験方法論応用	1通	1							兼2	
	口腔疫学基礎	1通	1							兼4	
	疫学応用	1通	1							兼7	
	臨床疫学解析演習(未開講)	2通	2							兼2	
	小計(9科目)	—	10							兼18	
演習科目	センサ医工学演習	1通	6		1				2		
	情報医工学演習	1通	6		1	1			2		
	精密医工学演習	1通	6		1						
	薬化学演習	1通	6		1	1		1			
	生命有機化学演習	1通	6		1				1		
	有機生体材料学演習	1通	6		1						
	診断治療システム医工学演習	1通	6		1	1		1			
	セラミックバイオマテリアル演習	1通	6		1					兼3	
	分子細胞生物学演習	1通	6		1	1		1			
	発生再生生物学演習	1通	6		1		1		2		
	先端ナノ医工学演習	1通	6		1				1		
	分子構造情報学演習	1通	6		1	1		1			
	機能分子病態学演習	1通	6		1	1		1			
	生体情報薬理学演習(未開講)	1通	6		1						
	疾患ゲノム機能演習(未開講)	1通	6		1						
ゲノム機能情報演習	1通	6		1	1		1				
医化学演習	1通	6		1			1				
恒常性医工学演習	1通	6		1							
理研生体分子制御学演習	1通	6		1					兼5		
メディシナルケミストリー演習	1通	6		1	1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	NCC腫瘍医学科学演習	1通	6		1						兼10
	細胞分子医学演習	1通	6			1					兼2
	領域創成科学演習	1通	6								兼3
	データ科学アルゴリズム設計・解析演習	1通	6		1			1			
	AI技術開発演習	1通	6		1						
	形態・生体情報解析学演習	1通	5		1			1			
	遺伝子細胞検査学演習	1通	5			1					
	呼吸器・神経系解析学演習	1通	5		1			1			
	疾患生理機能解析学演習	1通	5		1						
	先端分析検査学演習	1通	5		1			1			
	先端血液検査学演習	1通	5			1					
	分子病原体検査学演習	1通	5		1			1			
	生体検査科学セミナーII	1～3通	1		5	2		4			
	生涯口腔保健衛生学演習	1通	5		1						
	健康支援口腔保健衛生学演習	1通	5		1		1	1			
	口腔疾患予防学演習	1通	5		1			1			
	地域・福祉口腔機能管理学演習	1通	5		1			1			
	口腔健康教育学演習	1通	5		1			1			
	口腔基礎工学演習	1通	5		1	1		1			
	口腔デジタルプロセス学演習	1通	5		1			1			
口腔機能再建工学演習	1通	5				1	2				
口腔保健学セミナー	1～3通	1		7	1	2	8				
小計(39科目)	—		209		27	14	3	26			兼22
必修科目	生命理工医療科学先端研究特論	1～2通	2			3					
	研究実習	1～2通	6			27	14	3	26		兼22
	小計(2科目)	—	8			27	14	3	26		兼22
合計(83科目)	—	8	259		27	17	3	29			兼87

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	NCC腫瘍医学科学演習	1通	6		1						兼11
	細胞分子医学演習	1通	6				1				兼2
	領域創成科学演習	1通	6								兼5
	データ科学アルゴリズム設計・解析演習	1通	6		1						
	AI技術開発演習	1通	6		1					1	
	形態情報解析学演習	1通	5		1					2	
	生命情報応用学演習	1通	5		1			1	1		
	疾患生理機能解析学演習	1通	5		1		1		1		
	臨床分析・分子生物学演習	1通	5		1		1				
	血液・生体システム解析学演習	1通	5			1					
	微生物・感染免疫解析学演習	1通	5		1		1		1		
	生体検査科学セミナーII	1～3通	1		5	4	1	5			
	生涯口腔保健衛生学演習	1通	5		1			1			
	健康支援口腔保健衛生学演習	1通	5		1			1			
	口腔疾患予防学演習	1通	5		1			1			
	地域・福祉口腔機能管理学演習	1通	5		1			1			
	口腔健康教育学演習	1通	5		1			1			
	口腔基礎工学演習	1通	5		1	1		1			
	口腔デジタルプロセス学演習	1通	5		1		1		1		
	口腔医療工学演習	1通	5				1			1	
口腔保健学セミナー	1～3通	1		8	2	1	7				
小計(41科目)	—		222		30	16	5	27			兼26
必修科目	生命理工医療科学先端研究特論	1～2通	2			3					
	研究実習	1～2通	6			30	16	5	27		兼26
	小計(2科目)	—	8			30	16	5	27		兼26
合計(94科目)	—	8	282		30	16	5	27			兼26

卒業要件及び履修方法

一般科目から1単位以上、一般科目・先制医歯理工学専攻・専門科目から5単位以上、分野が開設する演習科目6単位(ただし分野が開設する演習科目5単位の場合)生体検査科学講座に所属する学生は生体検査科学セミナー1単位、口腔保健学講座に所属する学生は口腔保健学セミナー1単位を併せて履修するものとする。必修科目8単位の20単位以上修得し、博士論文の審査及び試験に合格すること。

なお、先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)を履修する学生は、一般科目及び先制医歯理工学専攻から各プログラムが指定する授業科目を6単位以上修得した場合、学位記に先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)を修了した旨を付記する。

【先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)履修方法】

区分	科目名	単位数	先制医歯理工学コース デバイス	疾患	
一般科目	マネジメント特論(日本語・英語)	1	■	■	
	国際動向特論	1	■	■	
	知的財産特論	1	■	■	
	英語ディベート特論(前期・後期)	1	■	■	
	英語プレゼンテーション特論	1	■	■	
先制医歯理工学専攻	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語・英語)	1	○	○
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅰ(日本語・英語)	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅱ(日本語・英語)	1	○	○
	専門科目	データサイエンス特論Ⅲ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅳ	1	○	○
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1	○	○
		先端バイオセンシングデバイス特論	1	☆	●
		医療デバイス・システム機器特論	1	☆	●
	専門科目	ウェアラブルIoT技術特論	1	☆	●
		臨床検査法開発特論	1	☆	●
		疾患分子病態学特論	1	●	●
		先端ケミカルバイオロジー特論	1	●	●
	生体分子制御学特論	1	●	●	

デバイス専門科目・・・先進医療デバイスIoT学専門科目
疾患専門科目・・・疾患生命創薬科学専門科目

- ：5科目中1単位以上を必修
- ：7科目中1単位以上を必修
- ☆：4科目中3単位以上を必修
- ：3科目中1単位以上を必修

卒業要件及び履修方法

一般科目から1単位以上、一般科目・先制医歯理工学専攻・臨床疫学専攻・専門科目から5単位以上、分野が開設する演習科目6単位(ただし分野が開設する演習科目5単位の場合)生体検査科学講座に所属する学生は生体検査科学セミナーⅡ1単位、口腔保健学講座に所属する学生は口腔保健学セミナー1単位を併せて履修するものとする。必修科目8単位の20単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

なお、先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)を履修する学生は、一般科目・専門科目及び先制医歯理工学専攻から各プログラムが指定する授業科目を6単位以上修得した場合、学位記に先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)を修了した旨を付記する。

【先制医歯理工学コース(先進医療デバイスIoT学プログラム又は疾患生命創薬科学プログラム)履修方法】

区分	科目名	単位数	先制医歯理工学コース デバイス	疾患	
一般科目	マネジメント特論(日本語・英語)	1	■	■	
	国際動向特論	1	■	■	
	知的財産特論	1	■	■	
	英語ディベート特論(前期・後期)	1	■	■	
	英語プレゼンテーション特論	1	■	■	
先制医歯理工学専攻	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語・英語)	1	○	○
		先制医歯理工学概論Ⅱ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅰ(日本語・英語)	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅱ(日本語・英語)	1	○	○
	専門科目	データサイエンス特論Ⅲ	1	○	○
		データサイエンス特論Ⅳ	1	○	○
		Advanced Human Pathology for Graduate Students	1	○	○
		先端バイオセンシングデバイス特論	1	☆	●
		医療デバイス・システム機器特論	1	☆	●
	専門科目	ウェアラブルIoT技術特論	1	☆	●
		臨床検査法開発特論	1	☆	●
		疾患分子病態学特論	1	●	●
		先端ケミカルバイオロジー特論	1	●	●
	生体分子制御学特論	1	●	●	

デバイス専門科目・・・先進医療デバイスIoT学専門科目
疾患専門科目・・・疾患生命創薬科学専門科目

- ：5科目中1単位以上を必修
- ：7科目中1単位以上を必修
- ☆：4科目中3単位以上を必修
- ：3科目中1単位以上を必修

また、臨床疫学プログラム(Clinical Epidemiology Program)を履修する学生は、プログラム開設科目のうち、臨床疫学科目を5単位以上修得し、かつ必修科目「臨床疫学解析演習」を修得した場合、学位記に臨床疫学プログラムを修了した旨を付記する。

【臨床疫学プログラム(Clinical Epidemiology Program)開設科目】

科目区分	科目名	単位数	
臨床疫学専攻	疫学基礎	1	選択
	生物統計学基礎	1	選択
	生物統計学応用Ⅰ	1	選択
	生物統計学応用Ⅱ	1	選択
	臨床試験方法論基礎	1	選択
	臨床試験方法論応用	1	選択
	口腔疫学基礎	1	選択
	疫学応用	1	選択
	臨床疫学解析演習	2	必修

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ 授業担当教員の退職により、「国際動向特論」の兼任教員等の配置を「7」から「6」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「疾患生命科学特論」の准教授の配置を「2」から「3」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「先端機能分子特論」の兼任教員等の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「機能分子開発技術特論」の准教授の配置を「3」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「機能再建材料科学特論」の兼任教員等の配置を「1」から「0」に変更とし、未開講とした。
- ・ 授業担当教員の変更により、「組織再生材料科学特論」の兼任教員等の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇任)により、「生体機能材料科学特論」の教授の配置を「0」から「1」に、授業担当教員の退職により、准教授の配置を「1」から「0」に、助教の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「生体情報数理解析論」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇任)により、「病態推論特論」の講師の配置を「0」から「1」に、助教の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「高度臨床実践特別演習入門」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「疾患予防パブリックヘルス医学概論」の兼任教員等の配置を「7」から「8」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「臨床・遺伝統計学」の兼任教員等の配置を「3」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の逝去により、「先端口腔保健応用学特論」の講師の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「先端口腔保健応用学演習」の助教の配置を「2」から「4」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「先端口腔保健工学特論」の教授の配置を「2」から「1」に、講師の配置を「1」から「0」に、兼任教員等の配置を「0」から「1」に、授業担当教員の異動(昇任)により、准教授の配置を「1」から「2」に、助教の配置を「4」から「3」に変更。
- ・ 「骨形態計測学特論」の名称を「硬組織研究・骨形態計測学特論」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職・変更により、「先制医歯理工学概論Ⅱ」の兼任教員等の配置を「6」から「5」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇進)により、「Advanced Human Pathology for Graduate Students」の講師の配置を「0」から「1」に、助教の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇進)により、「先端バイオセンシングデバイス特論」の教授の配置を「2」から「3」に、准教授の配置を「1」から「0」に、授業担当教員の変更により、助教の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「医療デバイス・システム機器特論」の教授の配置を「5」から「4」に、授業担当教員の変更により、助教の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇進)により、「臨床検査法開発学特論」の講師の配置を「0」から「1」に、助教の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の身分変更により、「疾患分子病態学特論」の准教授の配置を「2」から「1」に、兼任教員等の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「先端ケミカルバイオロジー特論」の准教授の配置を「4」から「3」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職・採用により、「生体分子制御学特論」の兼任教員等の配置を「4」から「5」に変更。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「疫学基礎」を新設。
- ・ 「疫学基礎」に兼任教員等「3」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「生物統計学基礎」を新設。
- ・ 「生物統計学基礎」に兼任教員等「2」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「生物統計学応用Ⅰ」を新設。
- ・ 「生物統計学応用Ⅰ」に兼任教員等「5」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「生物統計学応用Ⅱ」を新設。
- ・ 「生物統計学応用Ⅱ」に兼任教員等「4」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「臨床試験方法論基礎」を新設。
- ・ 「臨床試験方法論基礎」に兼任教員等「1」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「臨床試験方法論応用」を新設。
- ・ 「臨床試験方法論応用」に兼任教員等「2」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「口腔疫学基礎」を新設。
- ・ 「口腔疫学基礎」に兼任教員等「4」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「疫学応用」を新設。
- ・ 「疫学応用」に兼任教員等「7」を配置。
- ・ 臨床疫学に関する研究領域の教育内容拡充のため、「臨床疫学解析演習」を新設。
- ・ 「臨床疫学解析演習」に兼任教員等「2」を配置。
- ・ 授業担当教員の採用により、「センサ工学演習」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「バイオ情報演習」を「情報医学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「情報医学演習」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「バイオデザイン演習」を「精密医学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「生命有機化学演習」の准教授の配置を「1」から「0」に、助教の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 分野新設のため、「有機生体材料学演習」を新設。
- ・ 「有機生体材料学演習」に教授「1」を配置。
- ・ 分野名の変更により、「バイオメカニクス演習」を「診断治療システム工学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「診断治療システム工学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「セラミックバイオマテリアル演習」の兼任教員等の配置を「1」から「3」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「発生再生生物学演習」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 分野新設のため、「先端ナノ工学演習」を新設。
- ・ 「先端ナノ工学演習」に教授「1」、助教「1」を配置。
- ・ 授業担当教員の変更により、「機能分子病態学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に、授業担当教員の採用により、助教の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職・他専攻への異動により、「生体情報薬理学演習」の准教授の配置を「1」から「0」に、助教の配置を「1」から「0」に変更、未開講とした。
- ・ 授業担当教員の退職・変更により、「疾患ゲノム機能演習」の准教授の配置を「1」から「0」に、兼任教員等の配置を「2」から「0」に変更、未開講とした。
- ・ 分野新設のため、「恒常性医学演習」を新設。
- ・ 「恒常性医学演習」に教授「1」を配置。
- ・ 授業担当教員の変更により、「理研生体分子制御学演習」の兼任教員等の配置を「4」から「5」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「NCC腫瘍医学演習」の兼任教員等の配置を「10」から「11」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「領域創成科学演習」の兼任教員等の配置を「3」から「5」に変更。
- ・ 授業担当教員の退職により、「データ科学アルゴリズム設計・解析演習」の助教の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「AI技術開発演習」の助教の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「形態・生体情報解析学演習」を「形態情報解析学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「形態情報解析学演習」の助教の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「呼吸器・神経系解析学演習」を「生命情報応用学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇進)により、「生命情報応用学演習」の講師の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の採用・変更により、「疾患生理機能解析学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に、助教の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 分野の統合により、「先端分析検査学演習」・「遺伝子細胞検査学演習」を「臨床分析・分子生物学演習」に統合。
- ・ 授業担当教員の変更により、「臨床分析・分子生物学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に、授業担当教員の退職により、助教の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「先端血液検査学演習」を「血液・生体システム解析学演習」に名称変更。
- ・ 分野名の変更により、「分子病原体検査学演習」を「微生物・感染免疫解析学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「微生物・感染免疫解析学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の採用・変更及び異動(昇進)により、「生体検査科学セミナーⅠ」の准教授の配置を「2」から「4」に講師の配置を「0」から「1」に、助教の配置を「4」から「5」に変更。
- ・ 授業担当教員の他専攻からの異動により、「生涯口腔保健衛生学演習」の講師の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の逝去により、「健康支援口腔保健衛生学演習」の講師の配置を「1」から「0」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「口腔デジタルプロセス学演習」の准教授の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 分野名の変更により、「口腔機能再建工学演習」を「口腔医療工学演習」に名称変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇任)により、「口腔医療工学演習」の教授の配置を「0」から「1」に、講師の配置を「1」から「0」に、授業担当教員の変更により、助教の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 授業担当教員の異動(昇任)により、「口腔保健学セミナー」の教授の配置を「7」から「8」に、准教授の配置を「1」から「2」に、授業担当教員の異動(昇任)・逝去・他専攻からの異動により、講師の配置を「2」から「1」に、授業担当教員の異動(昇任)により、助教の配置を「8」から「7」に変更。
- ・ 授業担当教員の変更により、「研究実習」の教授の配置を「27」から「30」に、准教授の配置を「14」から「16」に、講師の配置を「3」から「5」に、助教の配置を「26」から「27」に、兼任教員等の配置を「22」から「26」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	81 科目	0 科目	83 科目	2 科目 []	92 科目 [11]	0 科目 []	94 科目 [11]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	機能再建材料学特論	1	1前	専門	選択	担当教員調整中のため。
2	生体情報薬理学演習	6	1通	専門	選択	担当教員調整中のため。
3	疾患ゲノム機能演習	6	1通	専門	選択	担当教員調整中のため。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	遺伝子細胞検査学演習	5	1	専門	選択	遺伝子細胞検査学分野を廃止し、先端分析検査学分野と統合したため。
2	先端分析検査学演習	5	1	専門	選択	先端分析検査学分野を廃止し、遺伝子細胞検査学分野と統合したため。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目および廃止科目は、すべて選択科目であるため、学生の修了要件に支障はない。また、入学生に配付した教育要項から未開講の旨明記および削除し、学生に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{83} = \boxed{6.02}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	52,611㎡	0㎡	0㎡	52,611㎡			
	運動場用地	19,972㎡	0㎡	0㎡	19,972㎡			
	小 計	72,583㎡	0㎡	0㎡	72,583㎡			
	そ の 他	37,174㎡	0㎡	0㎡	37,174㎡			
	合 計	109,757㎡	0㎡	0㎡	109,757㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		121,080㎡ (121,080 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	121,080㎡ (121,080 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		91室	56室	772室	0室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		大学全体			875 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル				
	大学全体	272,788 [111,931] (272,788 [111,931])	3,530 [1,947] (3,530 [1,947])	12,381 [10,888] (12,381 [10,888])	359 (359)	497 (497)	55,862 (55,862)	
	計	272,788 [111,931] (272,788 [111,931])	3,530 [1,947] (3,530 [1,947])	12,381 [10,888] (12,381 [10,888])	359 (359)	497 (497)	55,862 (55,862)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	5,327 ㎡		443 席		377,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,662 ㎡		テニスコート、プール、武道館、柔剣道場、弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—
		共 同 研 究 費 等	—	—	設備購入費	—	—	—
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		—	—	—	—	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医科歯科大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
医学部																		
医学科	6	101	2年次 5	628	学士 (医学)	0.99	-	1.00	-	令和2	昭和26	東京都文京区湯島1-5-45						
保健衛生学科	4	90	-	360	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.03	-	1.05	-	-	平成元	同上						
歯学部																		
歯学科	6	53	-	318	学士 (歯学)	0.99	-	1.00	-	-	昭和26	東京都文京区湯島1-5-45						
口腔保健学科	4	32	2年次 5	143	学士 (口腔保健学)	1.02	-	0.95	-	-	平成16	同上						
大学全体	6 4	276	2年次 10	1449	-	-	-	-	-	-	-	-						

5 教員組織の状況

<医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 和広 (61) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論 骨形態計測学特論
専	教授	荒川 真一 (64) <令和5年4月> 博士(歯学)
		生涯口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習
専	教授	池内 真志 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論 医療デバイス・システム機器特論 バイオデザイン演習 研究実習
専	教授	伊藤 暢聡 (59) <令和5年4月> 外国の博士号
		英語プレゼンテーション特論 先端機能分子特論 分子構造情報学演習 研究実習
専	教授	大川 龍之介 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習 I 高度臨床実践特別演習 II 先制医歯理工学概論 I (日本語) 先制医歯理工学概論 I (英語) Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 先端分析検査学演習 研究実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 和広 (61) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 硬組織研究・骨形態計測学特論
専	教授	荒川 真一 (64) <令和5年4月> 博士(歯学)
		生涯口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習
専	教授	池内 真志 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論 医療デバイス・システム機器特論 精密医工学演習 研究実習
専	教授	伊藤 暢聡 (59) <令和5年4月> 外国の博士号
		英語プレゼンテーション特論 先端機能分子特論 分子構造情報学演習 研究実習
専	教授	内田 智士 (41) <令和5年4月> 博士(医学)
		先端ナノ医工学演習 研究実習
専	教授	大川 龍之介 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習 I 高度臨床実践特別演習 II 先制医歯理工学概論 I (日本語) 先制医歯理工学概論 I (英語) Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 臨床分析・分子生物学演習 研究実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柿沼 晴 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナー II 疾患生理機能解析学演習 研究実習
専	教授	影近 弘之 (62) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論 機能再建材料学特論 機能分子開発技術特論 理研生体分子制御学特論 生体分子制御学特論 薬化学演習 理研生体分子制御学演習 NCC腫瘍医科学演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論
専	教授	梶 弘和 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		医療デバイス・システム機器特論 バイオメカニクス演習 研究実習
専	教授	金澤 学 (45) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	教授	樺沢 勇司 (50) <令和5年4月> 博士(歯学)
		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	教授	齋藤 良一 (49) <令和5年4月> 博士(保健学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 分子病原体検査学演習 研究実習
専	教授	品田 佳世子 (64) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔疾患予防学演習 口腔保健学セミナー 研究実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柿沼 晴 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナー II 疾患生理機能解析学演習 研究実習
専	教授	影近 弘之 (62) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論 機能再建材料学特論 機能分子開発技術特論 理研生体分子制御学特論 生体分子制御学特論 薬化学演習 理研生体分子制御学演習 NCC腫瘍医科学演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論
専	教授	梶 弘和 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		医療デバイス・システム機器特論 診断治療システム医工学 演習 研究実習
専	教授	金澤 学 (45) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	教授	樺沢 勇司 (50) <令和5年4月> 博士(歯学)
		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	教授	齋藤 良一 (49) <令和5年4月> 博士(保健学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 微生物・感染免疫解析学 演習 研究実習
専	教授	品田 佳世子 (64) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔疾患予防学演習 口腔保健学セミナー 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁谷 浩司 (62) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習
専	教授	角 勇樹 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナー II 呼吸器・神経系解析学演習 研究実習
専	教授	瀬川 勝盛 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 医化学演習 研究実習
専	教授	玉村 啓和 (58) <令和5年4月> 博士(薬学)
		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論
専	教授	中島 義和 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体情報数理解析論 医療デバイス・システム機器特論 バイオ情報演習 研究実習
専	教授	二階堂 愛 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習
専	教授	仁科 博史 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澁谷 浩司 (62) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習
専	教授	角 勇樹 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 生体検査科学セミナー II 生命情報応用学 演習 研究実習
専	教授	瀬川 勝盛 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 疾患分子病態学特論 医化学演習 研究実習
専	教授	玉村 啓和 (58) <令和5年4月> 博士(薬学)
		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論
専	教授	豊島 文子 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		恒常性医学演習 研究実習
専	教授	中島 義和 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体情報数理解析論 医療デバイス・システム機器特論 情報工医学 演習 研究実習
専	教授	二階堂 愛 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習
専	教授	仁科 博史 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	PARK HEEWON (38) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		医療デバイス・システム機器特論 疾患分子病態学特論 AI技術開発演習 研究実習 生命理工医療科学先端研究特論
専	教授	坂内 英夫 (47) ＜令和5年4月＞ その他の博士
		医療デバイス・システム機器特論 データ科学アルゴリズム設計・解析演習 研究実習
専	教授	星 治 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 形態・生体情報解析学演習 研究実習
専	教授	細谷 孝充 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習
専	教授	松尾 浩一郎 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	教授	松田 憲之 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		疾患生命科学特論 機能分子病態学演習 研究実習
専	教授	三林 浩二 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先制医歯理工学概論 I (日本語) 先端バイオセンシングデバイス特論 ウェアラブルIoT技術特論 センサ医工学演習 研究実習
専	教授	吉田 直美 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	坂内 英夫 (47) ＜令和5年4月＞ その他の博士
		医療デバイス・システム機器特論 データ科学アルゴリズム設計・解析演習 AI技術開発演習 研究実習
専	教授	星 治 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 形態情報解析学 演習 研究実習
専	教授	細谷 孝充 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習
専	教授	松尾 浩一郎 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	教授	松田 憲之 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		疾患生命科学特論 機能分子病態学演習 研究実習
専	教授	三林 浩二 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先制医歯理工学概論 I (日本語) 先端バイオセンシングデバイス特論 ウェアラブルIoT技術特論 センサ医工学演習 研究実習
専	教授	吉田 直美 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大木 明子 (53) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	准教授	小野木 真哉 (43) <令和5年4月> 博士(科学)
		生体情報数理解析論 バイオ情報演習 研究実習
専	准教授	木村 剛 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用材料工学特論
専	准教授	後藤 利保 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習
専	准教授	笹川 洋平 (45) <令和5年4月> その他の博士
		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習
専	准教授	佐々木 純子 (52) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患分子病態学特論 細胞分子医学演習 研究実習
専	准教授	鈴木 喜晴 (45) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 遺伝子細胞検査学演習 研究実習
専	准教授	竹内 純 (52) <令和5年4月> 博士(バイオサイエンス)
		疾患分子病態学特論 生体情報薬理学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大木 明子 (53) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	准教授	小野木 真哉 (43) <令和5年4月> 博士(科学)
		生体情報数理解析論 情報医工学 演習 研究実習
専	准教授	木村 剛 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用材料工学特論
専	准教授	後藤 利保 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習
専	准教授	笹川 洋平 (45) <令和5年4月> その他の博士
		疾患生命科学特論 ゲノム機能情報演習 研究実習
専	准教授	佐々木 純子 (52) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患分子病態学特論 細胞分子医学演習 研究実習
専	准教授	鈴木 喜晴 (45) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)
		臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 臨床分析・分子生物学 演習 研究実習
兼任	講師	竹内 純 (52) <令和5年4月> 博士(バイオサイエンス)
		疾患分子病態学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田村 篤志 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体機能材料学特論
専	准教授	辻 耕平 (35) <令和5年4月> 博士(薬科学)
		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習
専	准教授	西尾 美和子 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態推論特論 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 先端血液検査学演習 研究実習
専	准教授	丹羽 節 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 生命有機化学演習 研究実習
専	准教授	沼本 修孝 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		先端機能分子特論 先端ケミカルバイオロジー特論 分子構造情報学演習 研究実習
専	准教授	藤井 晋也 (45) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 薬化学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 ゆきえ (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体検査科学セミナー II 微生物・感染免疫解析学演習 研究実習
専	准教授	辻 耕平 (35) <令和5年4月> 博士(薬科学)
		機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習
専	准教授	梨本 裕司 (40) <令和5年4月> 博士(学術)
		診断治療システム医工学演習 研究実習
専	准教授	西尾 美和子 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)
		病態推論特論 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 血液・生体システム解析学演習 研究実習
専	准教授	沼本 修孝 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		先端機能分子特論 先端ケミカルバイオロジー特論 分子構造情報学演習 研究実習
専	准教授	藤井 晋也 (45) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 先端ケミカルバイオロジー特論 薬化学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松元 亮 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論
専	准教授	三橋 里美 (45) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患ゲノム機能演習 研究実習
専	准教授	横井 太史 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		組織再生材料学特論 セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
専	講師	池田 正臣 (50) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	講師	小藤 智史 (43) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松沢 優 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患生理機能解析学演習 生体検査科学セミナーII 研究実習
専	教授	松元 亮 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論 生体機能材料学特論 有機生体材料学演習 研究実習
専	准教授	山野 晃史 (42) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 機能分子病態学演習 研究実習
専	准教授	横井 太史 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		組織再生材料学特論 セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
専	教授	池田 正臣 (50) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習
専	講師	鎌谷 高志 (38) <令和5年4月> 博士(医学)
		AI技術開発演習 研究実習
専	講師	小藤 智史 (43) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患生命科学特論 発生再生生物学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	坂本 裕次郎 (61) <令和5年4月> 博士(歯学)
		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論
専	助教	赤座 実穂 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 呼吸器・神経系解析学演習 研究実習
専	助教	安達 奈穂子 (49) <令和5年4月> その他の修士
		口腔疾患予防学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論
専	助教	有坂 慶紀 (39) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体機能材料学特論
専	助教	飯谷 健太 (31) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論 センサ工学演習 研究実習
専	助教	石田 良典 (33) <令和5年4月> その他の博士
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 薬化学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	竹内 康雄 (51) <令和5年4月> 博士(歯学)
		生涯口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習
専	講師	持田 祐希 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端ナノ工医学演習 研究実習
専	講師	赤座 実穂 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		病態推論特論 Advanced Human Pathology for Graduate Students 臨床検査法開発学特論 生体検査科学セミナー II 生命情報応用学演習 研究実習
専	助教	安達 奈穂子 (49) <令和5年4月> その他の修士
		口腔疾患予防学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	助教	飯谷 健太 (31) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論 ウェアラブルIoT技術特論 センサ工学演習 研究実習
専	助教	石田 良典 (33) <令和5年4月> その他の博士
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 薬化学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	伊藤 奏 (36) <令和5年4月> 博士(歯学)
		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論
専	助教	井原 健介 (42) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体情報薬理学演習 研究実習
専	助教	岩城 麻衣子 (44) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	太田 悠介 (32) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体検査科学セミナー II 分子病原体検査学演習 研究実習
専	助教	上條 真吾 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論 骨形態計測学特論
専	助教	亀田 貴寛 (36) <令和5年4月> 博士(保健学)
		生体検査科学セミナー II 先端分析検査学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	市川 健太 (27) <令和5年4月> 博士(工学)
		センサ医工学演習 研究実習
専	助教	伊藤 奏 (36) <令和5年4月> 博士(歯学)
		健康支援口腔保健衛生学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学特論 先端口腔保健応用学演習
専	准教授	岩城 麻衣子 (44) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	太田 悠介 (32) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体検査科学セミナー II 微生物・感染免疫解析学演習 研究実習
専	助教	岡本 好海 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		発生再生生物学演習 研究実習
専	助教	上條 真吾 (48) <令和5年4月> 修士(学術)
		口腔基礎工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論 硬組織研究・骨形態計測学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	KOEPPL DOMINIK (35) <令和5年4月> 外国の博士号
		データ科学アルゴリズム設計・解析 演習 研究実習
専	助教	小早川 拓也 (33) <令和5年4月> 博士(工学)
		機能分子開発技術特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習
専	助教	坂田 優希 (33) <令和5年4月> 修士(工学)
		生命有機化学演習 研究実習
専	助教	塩沢 真穂 (39) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔機能再建工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	清水 幹容 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	河原 智樹 (41) <令和5年4月> 学士(医学)
		生命情報応用学演習 研究実習
専	助教	小早川 拓也 (33) <令和5年4月> 博士(工学)
		機能分子開発技術特論 メディシナルケミストリー演習 研究実習
専	助教	小松谷 史香 (40) <令和5年4月> 博士(生命化学)
		機能分子病態学演習 研究実習
専	助教	塩沢 真穂 (39) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔医療工学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	清水 幹容 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患生命科学特論 分子細胞生物学演習 研究実習
専	助教	周 東博 (36) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体情報数理解析論 医療デバイス・システム機器特論 情報工学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	杉野 貴明 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		生体情報数理解析論 バイオ情報演習 研究実習
専	助教	鈴木 瞳 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習
専	助教	副島 友莉恵 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ Advanced Human Pathology for Graduate Students
専	助教	田口 純平 (31) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習
専	助教	土田 優美 (32) ＜令和5年4月＞ その他の修士
		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	橋本 良秀 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		医用材料工学特論
専	助教	花園 祐矢 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		分子構造情報学演習 研究実習
専	助教	日高 玲奈 (33) ＜令和5年4月＞ その他の修士
		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	杉野 貴明 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		生体情報数理解析論 情報医工学 演習 研究実習
専	助教	鈴木 瞳 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(歯学)
		口腔健康教育学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習
専	助教	副島 友莉恵 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ Advanced Human Pathology for Graduate Students 形態情報解析学演習 研究実習 生体検査科学セミナーⅡ
専	助教	田口 純平 (31) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端機能分子特論 機能分子開発技術特論 生命有機化学演習 研究実習
専	助教	土田 優美 (32) ＜令和5年4月＞ その他の修士
		口腔デジタルプロセス学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健工学特論
専	助教	橋本 良秀 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		医用材料工学特論
専	助教	花園 祐矢 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		分子構造情報学演習 研究実習
専	助教	日高 玲奈 (33) ＜令和5年4月＞ その他の修士
		地域・福祉口腔機能管理学演習 口腔保健学セミナー 研究実習 先端口腔保健応用学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	PU JING (32) <令和5年4月> 外国の修士号
		発生再生生物学演習 研究実習
専	助教	藤代 瞳 (35) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体検査科学セミナー II 形態・生体情報解析学演習 研究実習
専	助教	堀 武志 (38) <令和5年4月> その他の博士
		バイオメカニクス演習 研究実習
専	助教	宮田 佑吾 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		医化学演習 研究実習
専	助教	山根 万里子 (37) <令和5年4月> 博士(医学)
		ゲノム機能情報演習 研究実習
兼任	教授	秋田 恵一 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	PU JING (32) <令和5年4月> 外国の修士号
		発生再生生物学演習 研究実習
専	助教	藤代 瞳 (35) <令和5年4月> 博士(医学)
		高度臨床実践特別演習入門 生体検査科学セミナー II 形態情報解析学演習 研究実習
専	助教	堀 武志 (38) <令和5年4月> その他の博士
		診断治療システム医工学演習 研究実習
専	助教	宮田 佑吾 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		医化学演習 研究実習
専	助教	山口 純司 (35) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患生理機能解析学演習 生体検査科学セミナー II 研究実習
専	助教	山根 万里子 (37) <令和5年4月> 博士(医学)
		ゲノム機能情報演習 研究実習
兼任	教授	相田 潤 (45) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔疫学基礎 疫学応用
兼任	教授	秋田 恵一 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 欽也 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語) 先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	教授	石野 智子 (49) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	教授	川下 将一 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		組織再生材料学特論 セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
兼任	教授	高地 雄太 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患ゲノム機能演習 研究実習
兼任	教授	佐々木 雄彦 (53) <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞分子医学演習 研究実習
兼任	教授	清水 秀幸 (36) <令和5年4月> 博士(医学)
		医療デバイス・システム機器特論
兼任	教授	高田 和生 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 欽也 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語) 先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	教授	石野 智子 (49) <令和5年4月> 博士(薬学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	教授	川下 将一 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		組織再生材料学特論 セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
兼任	教授	具 芳明 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	教授	佐々木 雄彦 (53) <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞分子医学演習 研究実習
兼任	教授	清水 秀幸 (36) <令和5年4月> 博士(医学)
		医療デバイス・システム機器特論 生物統計学応用Ⅱ
兼任	教授	高田 和生 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 邦彦 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ(英語)
兼任	教授	竹内 勝之 (51) <令和5年4月> 修士(医科学)
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語) 国際動向特論 知的財産特論 データサイエンス特論Ⅰ(日本語) データサイエンス特論Ⅱ(日本語) データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ
兼任	教授	田中 敏博 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語)
兼任	教授	奈良 雅之 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	教授	檜枝 光憲 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 邦彦 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ(英語) 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ
兼任	教授	竹内 勝之 (51) <令和5年4月> 修士(医科学)
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語) 国際動向特論 知的財産特論 データサイエンス特論Ⅰ(日本語) データサイエンス特論Ⅱ(日本語) データサイエンス特論Ⅲ データサイエンス特論Ⅳ
兼任	教授	田中 敏博 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語)
兼任	教授	中林 潤 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	教授	奈良 雅之 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	教授	檜枝 光憲 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	教授	平川 晃弘 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		臨床試験方法論基礎 臨床試験方法論応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤原 武男 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	教授	吉田 雅幸 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論 I (英語)
兼任	准教授	岡田 卓也 (43) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	准教授	JANELLE RENEE MOROSS (62) <令和5年4月> 准学士(看護)
		英語プレゼンテーション特論
兼任	准教授	徳永 伸一 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	准教授	長谷 武志 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		データサイエンス特論 II (日本語)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤原 武男 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		疫学基礎 臨床疫学解析演習
兼任	教授	柳下 和慶 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	教授	吉田 雅幸 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		先制医歯理工学概論 I (英語)
兼任	准教授	岡田 卓也 (43) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	准教授	那波 伸敏 (42) <令和5年4月> 博士(医学)
		疫学基礎
兼任	准教授	JANELLE RENEE MOROSS (62) <令和5年4月> 准学士(看護)
		英語プレゼンテーション特論
兼任	准教授	徳永 伸一 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		領域創成科学演習 研究実習
兼任	准教授	長谷 武志 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		データサイエンス特論 II (日本語)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長谷川 嵩矩 (36) <令和5年4月> 博士(情報学)
		データサイエンス特論Ⅱ(英語)
兼任	准教授	JEANETTE DENNISON (44) <令和5年4月> 修士
		英語ディベート特論
兼任	講師	安齋 達彦 (36) <令和5年4月> その他の博士
		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ(英語)
兼任	講師	梶原 道子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ
兼任	講師	清野 薫子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長谷川 嵩矩 (36) <令和5年4月> 博士(情報学)
		データサイエンス特論Ⅱ(英語)
兼任	准教授	松山 祐輔 (36) <令和5年4月> 博士(歯学)
		口腔疫学基礎 疫学応用
兼任	准教授	JEANETTE DENNISON (44) <令和5年4月> 修士
		英語ディベート特論
兼任	講師	安齋 達彦 (36) <令和5年4月> その他の博士
		臨床・遺伝統計学 データサイエンス特論Ⅰ(英語) 生物統計学基礎 生物統計学応用Ⅰ 生物統計学応用Ⅱ
兼任	講師	伊角 彩 (38) <令和5年4月> 博士(国際公共政策)
		疫学応用
兼任	講師	梶原 道子 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		高度臨床実践特別演習入門 高度臨床実践特別演習Ⅰ 高度臨床実践特別演習Ⅱ
兼任	講師	清野 薫子 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	講師	谷 友香子 (41) <令和5年4月> 博士(生物科学)
		疫学基礎 疫学応用 臨床疫学解析演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	伊藤 翼 (31) <令和5年4月> 博士(経済学)
		臨床・遺伝統計学
兼任	助教	上田 真保子 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		疾患ゲノム機能演習 研究実習
兼任	助教	竹本 暁 (41) <令和5年4月> 学士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森田 彩子 (42) <令和5年4月> 博士(生物科学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	助教	石丸 美穂 (35) <令和5年4月> 博士(医学)
		口腔疫学基礎 疫学応用
兼任	助教	木野 志保(36) <令和5年4月> PhD in Epidemiology and Public Health
		口腔疫学基礎 疫学応用
兼任	助教	佐藤 宏征 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		臨床試験方法論応用
兼任	助教	島袋 将弥 (30) <令和5年4月> 博士(工学)
		組織再生材料学特論 セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
兼任	助教	竹本 暁 (41) <令和5年4月> 学士(医学)
		先制医歯理工学概論Ⅰ(日本語) 先制医歯理工学概論Ⅰ(英語)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	長谷川 純矢 (44) <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞分子医学演習 研究実習
兼任	副臨床検査技師長	甲田 祐樹 (35) <令和5年4月> 修士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	副臨床検査技師長	青柳 栄子 (49) <令和5年4月> 学士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	臨床検査技師長	市村 直也 (43) <令和5年4月> 学士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	臨床検査技師長	大友 直樹 (60) <令和5年4月> -
		高度臨床実践特別演習入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	土井 理美 (34) <令和5年4月> 博士(臨床心理学)
		疫学応用
兼任	助教	馬 悦 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端機能分子特論
兼任	助教	長谷川 純矢 (44) <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞分子医学演習 研究実習
兼任	助教	宮安 杏奈 (34) <令和5年4月> 博士(歯学)
		先端口腔保健工学特論
兼任	副臨床検査技師長	甲田 祐樹 (35) <令和5年4月> 修士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	副臨床検査技師長	青柳 栄子 (49) <令和5年4月> 学士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	臨床検査技師長	市村 直也 (43) <令和5年4月> 学士
		高度臨床実践特別演習入門
兼任	臨床検査技師長	大友 直樹 (60) <令和5年4月> -
		高度臨床実践特別演習入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浅井 義之 (47) <令和5年4月> 博士(基礎工学研究科)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	荒川 博文 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患分子病態学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	石垣 和慶 (42) <令和5年4月> 博士(医学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	石川 哲朗 (39) <令和5年4月> 修士(理学)・博士(理学)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	泉 正範 (38) <令和5年4月> 博士(能楽)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	板越 正彦 (62) <令和5年4月> 外国の修士号
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語)
兼任	講師	今村 健 (40) <令和5年4月> 修士(芸術工学)
		マネジメント特論(日本語)
兼任	講師	植村 靖史 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒川 博文 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患分子病態学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	石垣 和慶 (42) <令和5年4月> 博士(医学)
		理研生体分子制御学特論 生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	講師	石川 哲朗 (39) <令和5年4月> 修士(理学)・博士(理学)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	泉 正範 (38) <令和5年4月> 博士(能楽)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	板越 正彦 (62) <令和5年4月> 外国の修士号
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語)
兼任	講師	今村 健 (40) <令和5年4月> 修士(芸術工学)
		マネジメント特論(日本語)
兼任	講師	植村 靖史 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇賀神 敦 (62) <令和5年4月> 学士
		国際動向特論
兼任	講師	遠藤 良 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	岡田 将誌 (38) <令和5年4月> 博士(理学)
		国際動向特論
兼任	講師	小野 雅司 (74) <令和5年4月> 博士(保健学)
		国際動向特論
兼任	講師	Gailhouste, Luc Nicolas (44) <令和5年4月> 博士(生物学)
		理研生体分子制御学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇賀神 敦 (62) <令和5年4月> 学士
		国際動向特論
兼任	講師	江越 脩祐 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	遠藤 良 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	漆原 尚巳 (55) <令和5年4月> 博士(社会健康医学)
		生物統計学応用Ⅱ
兼任	講師	大木 理恵子 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	岡田 将誌 (38) <令和5年4月> 博士(理学)
		国際動向特論
兼任	講師	小野 雅司 (74) <令和5年4月> 博士(保健学)
		国際動向特論
兼任	講師	Gailhouste, Luc Nicolas (44) <令和5年4月> 博士(生物学)
		理研生体分子制御学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 大 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論
兼任	講師	川上 英良 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(医学系研究科病因病理学専攻)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	川瀬 真 (68) ＜令和5年4月＞ 学士
		知的財産特論
兼任	講師	久保田 宏 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		国際動向特論
兼任	講師	Krzyzanowski, Marek Konrad (35) ＜令和5年4月＞ 博士(生物学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	古賀 宣勝 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	小島 寛之 (64) ＜令和5年4月＞ 経済学(修士)・経済学(博士)
		データサイエンス特論Ⅰ(日本語) データサイエンス特論Ⅳ
兼任	講師	塩谷 文章 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 大 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端バイオセンシングデバイス特論
兼任	講師	川上 英良 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(医学系研究科病因病理学専攻)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	川瀬 真 (68) ＜令和5年4月＞ 学士
		知的財産特論
兼任	講師	久保田 宏 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		国際動向特論
兼任	講師	
兼任	講師	古賀 宣勝 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	小島 寛之 (64) ＜令和5年4月＞ 経済学(修士)・経済学(博士)
		データサイエンス特論Ⅰ(日本語) データサイエンス特論Ⅳ
兼任	講師	塩谷 文章 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	下川 朝有 (38) <令和5年4月> 修士(理学)・博士(理学)
		データサイエンス特論Ⅲ
兼任	講師	白神 昇平 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		国際動向特論
兼任	講師	杉光 一成 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		知的財産特論
兼任	講師	関根 圭輔 (50) <令和5年4月> 博士(農学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	瀬々 潤 (46) <令和5年4月> 博士(科学)
		先制医歯理工学概論Ⅱ
兼任	講師	田上 俊輔 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	田中 元雅 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	下川 朝有 (38) <令和5年4月> 修士(理学)・博士(理学)
		データサイエンス特論Ⅲ
兼任	講師	白神 昇平 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		国際動向特論
兼任	講師	新富 圭史 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	杉光 一成 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		知的財産特論
兼任	講師	関根 圭輔 (50) <令和5年4月> 博士(農学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	田上 俊輔 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	田中 元雅 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田邊 勇二 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	谷内 一郎 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	講師	土屋 直人 (55) <令和5年4月> 博士(理学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	寺島 左和子 (72) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際動向特論
兼任	講師	閻闔 孝介 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	成瀬 哲也 (57) <令和5年4月> 修士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	野中 希一 (65) <令和5年4月> 博士(歯学)
		骨形態計測学特論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田邊 勇二 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	谷内 一郎 (59) <令和5年4月> 博士(医学)
		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	講師	土屋 直人 (55) <令和5年4月> 博士(理学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	野間 久史 (39) <令和5年4月> 博士(社会健康医学)
		生物統計学応用 I
兼任	講師	野中 希一 (65) <令和5年4月> 博士(歯学)
		硬組織研究・骨形態計測学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	萩原 伸也 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	講師	浜本 隆二 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		NCC腫瘍医学演習 研究実習
兼任	講師	平井 佑希 (45) <令和5年4月> 法務博士
		知的財産特論
兼任	講師	FARHA NAOMI OMAR F (49) <令和5年4月> 博士(哲学)・理学士
		英語プレゼンテーション特論
兼任	講師	Masud Khan (46) <令和5年4月> 博士(歯学)
		骨形態計測学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	野村 高志 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	萩原 伸也 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	講師	服部 聡 (54) <令和5年4月> 博士(臨床統計学)
		生物統計学応用 I
兼任	講師	浜本 隆二 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		NCC腫瘍医学演習 研究実習
兼任	講師	平井 佑希 (45) <令和5年4月> 法務博士
		知的財産特論
兼任	講師	FARHA NAOMI OMAR F (49) <令和5年4月> 博士(哲学)・理学士
		英語プレゼンテーション特論
兼任	講師	星野 崇宏 (47) <令和5年4月> 博士(学術)、博士(経済学)
		生物統計学応用 I
兼任	講師	Masud Khan (46) <令和5年4月> 博士(歯学)
		硬組織研究・骨形態計測学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	増富 健吉 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患生命科学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	三井田 孝 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査法開発学特論
兼任	講師	宮坂 信彦 (54) <令和5年4月> 博士(薬学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	茂櫛 薫 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		先制医歯理工学概論Ⅱ データサイエンス特論Ⅱ(日本語)
兼任	講師	安永 正浩 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	山口 真澄 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	吉岡 克成 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	吉岡 研一 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	増富 健吉 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患生命科学特論 NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	三井田 孝 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査法開発学特論
兼任	講師	宮坂 信彦 (54) <令和5年4月> 博士(薬学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	茂櫛 薫 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		先制医歯理工学概論Ⅱ データサイエンス特論Ⅱ(日本語)
兼任	講師	安永 正浩 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習
兼任	講師	山口 真澄 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	吉岡 克成 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		ウェアラブルIoT技術特論
兼任	講師	吉岡 研一 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		NCC腫瘍医科学演習 研究実習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉岡 広大 (30) <令和5年4月> 博士(薬科学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	吉田 英行 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	吉野 宏志 (35) <令和5年4月> 修士(言語学)
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語)
兼任	講師	渡邊 力也 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学特論 理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	助教	伊藤 崇 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	助教	海瀬 晃 (34) <令和5年4月> 博士(工学)
		機能再建材料学特論
兼任	技術専門職員	増野 弘幸 (52) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉岡 広大 (30) <令和5年4月> 博士(薬科学)
		生体分子制御学特論
兼任	講師	吉田 英行 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		理研生体分子制御学特論
兼任	講師	吉野 宏志 (35) <令和5年4月> 修士(言語学)
		マネジメント特論(日本語) マネジメント特論(英語) 先制医歯理工学概論II
兼任	講師	渡邊 力也 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		理研生体分子制御学演習 研究実習
兼任	助教	伊藤 崇 (46) <令和5年4月> 博士(医学)
		疾患予防パブリックヘルス医学概論
兼任	助教	海瀬 晃 (34) <令和5年4月> 博士(工学)
		セラミックバイオマテリアル演習 研究実習
兼任	技術専門職員	増野 弘幸 (52) <令和5年4月> 博士(薬学)
		先端機能分子特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後の方の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

先端口腔保健工学特論の科目担当者から青木 和広 教授を解除
骨形態計測学特論の科目担当者から青木 和広 教授を解除、硬組織研究・骨形態計測学特論の科目担当者として青木 和広 教授を配置
バイオデザイン演習の科目担当者から池内 真志 教授を解除、精密医学演習の科目担当者として池内 真志 教授を配置
先端分析検査学演習の科目担当者から大川 龍之介 教授を解除、臨床分析・分子生物学演習の科目担当者として大川 龍之介 教授を配置
先端ナノ医学演習、研究実習の科目担当者として内田 智士 教授を配置
バイオメカニクス演習の科目担当者から梶 弘和 教授を解除、診断治療システム医学演習の科目担当者として梶 弘和 教授を配置
分子病原体検査学演習の科目担当者から齋藤 良一 教授を解除、微生物・感染免疫解析学演習の科目担当者として齋藤 良一 教授を配置
呼吸器・神経系解析学演習の科目担当者から角 勇樹 教授を解除、生命情報応用学演習の科目担当者として角 勇樹 教授を配置
疾患分子病態学特論の科目担当者として瀬川 勝盛 教授を配置
恒常性医学演習、研究実習の科目担当者として豊島 文子 教授を配置
バイオ情報演習の科目担当者から中島 義和 教授を解除、情報医学演習の科目担当者として中島 義和 教授を配置
生理理工学医療科学先端研究特論の科目担当者として仁科 博史 教授を配置
医療デバイス・システム機器特論、疾患分子病態学特論、AI技術開発演習、研究実習、生理理工学医療科学先端研究特論の科目担当者からPARK HEEWON 教授を解除
AI技術開発演習の科目担当者として坂内 英夫 教授を配置
形態・生体情報解析学演習の科目担当者から星 治 教授を解除、形態情報解析学演習の科目担当者として星 治 教授を配置
バイオ情報演習の科目担当者から小野木 真哉 准教授を解除、情報医学演習の科目担当者として小野木 真哉 准教授を配置
遺伝子細胞検査学演習の科目担当者から鈴木 喜晴 准教授を解除、臨床分析・分子生物学演習の科目担当者として鈴木 喜晴 准教授を配置
竹内 純 准教授退職、非常勤講師として委嘱、専任から兼任へ変更
生体情報薬理学演習、研究実習の科目担当者から竹内 純 講師を解除
生体検査科学セミナー II、微生物・感染免疫解析学演習、研究実習の科目担当者として田中 ゆきえ 准教授を配置
生体機能材料学特論の科目担当者から田村 篤志准教授を解除
診断治療システム医学演習、研究実習の科目担当者として梨本 裕司 准教授を配置
先端血液検査学演習の科目担当者から西尾 美和子 准教授を解除、血液・生体システム解析学演習の科目担当者として西尾 美和子 准教授を配置
機能分子開発技術特論、先端ケミカルバイオロジー特論、生命有機化学演習、研究実習の科目担当者から丹羽 節 准教授を解除
疾患生理機能解析学演習、生体検査科学セミナー II、研究実習の科目担当者として松沢 優 准教授を配置
松元 亮 准教授が教授に昇進
生体機能材料学特論、有機生体材料学演習、研究実習の科目担当者として松元 亮 教授を配置
疾患ゲノム機能演習、研究実習の科目担当者から三橋 里美 准教授を解除
疾患生命科学特論、機能分子病態学演習、研究実習の科目担当者として山野 寛史 准教授を配置
池田 正臣 講師が教授に昇進
先端口腔保健工学特論の科目担当者から池田 正臣 教授を解除
AI技術開発演習、研究実習の科目担当者として鎌谷 高志 講師を配置
健康支援口腔保健衛生学演習、口腔保健学セミナー、研究実習、先端口腔保健応用学特論の科目担当者から坂本 裕次郎 講師を解除
生涯口腔保健衛生学演習、口腔保健学セミナー、研究実習の科目担当者として竹内 康雄 講師を配置
先端ナノ医学演習、研究実習の科目担当者として持田 祐希 講師を配置
赤座 実穂 助教が講師に昇進
呼吸器・神経系解析学演習の科目担当者から赤座 実穂 講師を解除、生命情報応用学演習の科目担当者として赤座 実穂 講師を配置
先端口腔保健応用学演習の科目担当者として安達 奈穂子 助教を配置
生体機能材料学特論の科目担当者から有坂 慶紀 助教を解除
先端バイオセンシングデバイス特論の科目担当者として飯谷 健太 助教を配置
センサ医学演習、研究実習の科目担当者として市川 健太 助教を配置
先端口腔保健応用学演習の科目担当者として伊藤 奏 助教を配置
生体情報薬理学演習、研究実習の科目担当者から井原 健介 助教を解除
岩城 麻衣子 助教が准教授に昇進
分子病原体検査学演習の科目担当者から太田 悠介 助教を解除、微生物・感染免疫解析学演習の科目担当者として太田 悠介 助教を配置
発生再生生物学演習、研究実習の科目担当者として岡本 好海 助教を配置
骨形態計測学特論の科目担当者から上條 真吾 助教を解除、硬組織研究・骨形態計測学特論の科目担当者として上條 真吾 助教を配置
生体検査科学セミナー II、先端分析検査学演習、研究実習の科目担当者から亀田 真寛 助教を解除
生命情報応用学演習、研究実習の科目担当者として河原 智樹 助教を配置
データ科学アルゴリズム設計・解析演習、研究実習の科目担当者からKOEPL DOMINIK 助教を解除
機能分子病態学演習、研究実習の科目担当者として小松谷 史香 助教を配置
生命有機化学演習、研究実習の科目担当者から坂田 優希 助教を解除
口腔機能再建工学演習の科目担当者から塩沢 真穂 助教を解除、口腔医療工学演習の科目担当者として塩沢 真穂 助教を配置
生体情報薬理学演習、医療デバイス・システム機器特論、情報医学演習、研究実習の科目担当者として周 東博 助教を配置
バイオ情報演習の科目担当者から杉野 貴明 助教を解除、情報医学演習の科目担当者として杉野 貴明 助教を配置
形態情報解析学演習、研究実習、生体検査科学セミナー IIの科目担当者として副島 友利恵 助教を配置
高度臨床実践特別演習入門の科目担当者として藤代 瞳 助教を配置
形態・生体情報解析学演習の科目担当者から藤代 瞳 助教を解除、形態情報解析学演習の科目担当者として藤代 瞳 助教を配置
バイオメカニクス演習の科目担当者から堀 武志 助教を解除、診断治療システム医学演習の科目担当者として堀 武志 助教を配置
疾患生理機能解析学演習、生体検査科学セミナー II、研究実習の科目担当者として山口 純司 助教を配置
口腔疫学基礎、疫学応用の科目担当者として相田 潤 教授を配置
疾患ゲノム機能演習、研究実習の科目担当者から高地 雄太 教授を解除
疾患予防パブリックヘルス医学概論の科目担当者として具 芳明 教授を配置
生物統計学応用 IIの科目担当者として清水 秀幸 教授を配置
生物統計学基礎、生物統計学応用 I、生物統計学応用 IIの科目担当者として高橋 邦彦 教授を配置
領域創成科学演習、研究実習の科目担当者として中林 潤 教授を配置
臨床試験方法論基礎、臨床試験方法論応用の科目担当者として平川 晃弘 教授を配置
疾患予防パブリックヘルス医学概論の科目担当者から藤原 武男 教授を解除
疫学基礎、臨床疫学解析演習の科目担当者として藤原 武男 教授を配置
領域創成科学演習、研究実習の科目担当者として柳下 和慶 教授を配置
疫学基礎の科目担当者として那波 伸敏 准教授を配置
口腔疫学基礎、疫学応用の科目担当者として松山 祐輔 准教授を配置
生物統計学基礎、生物統計学応用 I、生物統計学応用 IIの科目担当者として安齋 達彦 講師を配置
疫学応用の科目担当者として伊角 彩 講師を配置
疫学基礎、疫学応用、臨床疫学解析演習の科目担当者として谷 友香子 講師を配置
疾患予防パブリックヘルス医学概論の科目担当者として森田 彩子 講師を配置
口腔疫学基礎、疫学応用の科目担当者として石丸 美穂 助教を配置
臨床・遺伝統計学の科目担当者から伊藤 翼 助教を解除
疾患ゲノム機能演習、研究実習の科目担当者から上田 真保子 助教を解除
口腔疫学基礎、疫学応用の科目担当者として木野 志保 助教を配置
臨床試験方法論応用の科目担当者として佐藤 宏征 助教を配置
組織再生材料学特論、セラミックバイオマテリアル演習、研究実習の科目担当者として島袋 将弥 助教を配置
疫学応用の科目担当者として土井 理美 助教を配置
先端機能分子特論の科目担当者として馬 悦 助教を配置
先端口腔保健工学特論の科目担当者として宮安 杏奈 助教を配置
先制医療工学概論 IIの科目担当者から浅井 義之 講師を解除
理研生体分子制御学特論、理研生体分子制御学演習、研究実習の科目担当者として石垣 和慶 講師を配置
生体分子制御学特論の科目担当者として江越 脩祐 講師を配置
生物統計学応用 IIの科目担当者として漆原 尚巳 講師を配置
NCC腫瘍医学演習、研究実習の科目担当者として大木 理恵子 講師を配置
理研生体分子制御学特論の科目担当者からKrzyzanowski, Marek Konrad 講師を解除
生体分子制御学特論の科目担当者として新宮 圭史 講師を配置
先制医療工学概論 IIの科目担当者から瀬々 潤 講師を解除
国際動向特論の科目担当者から寺島 左和子 講師を解除
生体分子制御学特論の科目担当者から関岡 孝介 講師を解除
生物統計学応用 Iの科目担当者として野間 久史 講師を配置
骨形態計測学特論の科目担当者から野中 希一 講師を解除、硬組織研究・骨形態計測学特論の科目担当者として野中 希一 講師を配置
理研生体分子制御学特論の科目担当者として野村 高志 講師を配置
生物統計学応用 Iの科目担当者として服部 聡 講師を配置
生物統計学応用 Iの科目担当者として星野 崇宏 講師を配置
骨形態計測学特論の科目担当者からMasud Khan 講師を解除、硬組織研究・骨形態計測学特論の科目担当者としてMasud Khan 講師を配置
先制医療工学概論 IIの科目担当者として吉野 宏志 講師を配置
理研生体分子制御学特論の科目担当者から渡邊 力也 講師を解除
機能再建材料学特論の科目担当者から海瀬 晃 助教を解除
セラミックバイオマテリアル演習、研究実習の科目担当者として海瀬 晃 助教を配置

- (注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既に配置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
9	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
27	17	3	29	76	0	30	16	5	27	78	0
(30)	(16)	(5)	(27)	(78)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
47	27	29	0			51	30	27	0		
(47)	(27)	(29)	(0)			(47)	(27)	(29)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
30	16	5	27	78	0	30	16	5	27	78	0
[3]	[Δ1]	[2]	[Δ2]	[2]	[]	[3]	[Δ1]	[2]	[Δ2]	[2]	[]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
51	30	27	0			51	30	27	0		
(47)	(30)	(27)	(0)			(47)	(30)	(27)	(0)		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{78}{76} = \boxed{102.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	PARK HEEWON	R5.2	選択	医療デバイス・システム機器特論	①	一身上の都合により退職
				選択	疾患分子病態学特論	①	
				選択	AI技術開発演習	①	
				選択	研究実習	①	
				必修	生命理工医療科学先端研究特論	①	
2	准教授	竹内 純	R5.3	選択	疾患分子病態学特論	②	一身上の都合により退職 (令和5年度 非常勤講師)
				選択	生体情報薬理学演習	③	
				必修	研究実習	①	
3	准教授	田村 篤志	R5.3	選択	生体機能材料科学特論	①	一身上の都合により退職
4	准教授	丹羽 節	R5.3	選択	機能分子開発技術特論	①	一身上の都合により退職
				選択	先端ケミカルバイオロジー特論	①	
				選択	生命有機化学演習	③	
				必修	研究実習	①	
				必修	研究実習	①	
5	准教授	三橋 里美	R4.5	選択	疾患ゲノム機能演習	③	一身上の都合により退職
				必修	研究実習	①	
6	講師	坂本 裕次郎	R4.8	選択	健康支援口腔保健衛生学演習	①	逝去のため
				選択	口腔保健学セミナー	①	
				選択	先端口腔保健応用学特論	①	
				必修	研究実習	①	
7	助教	有坂 慶紀	R5.3	選択	生体機能材料科学特論	①	一身上の都合により退職
8	助教	井原 健介	R5.3	選択	生体情報薬理学演習	③	他専攻へ異動のため
				必修	研究実習	①	
9	助教	亀田 貴寛	R5.3	選択	生体検査科学セミナー II	①	一身上の都合により退職
				選択	先端分析検査学演習	③	
				必修	研究実習	①	
10	助教	KOEPL DOMINIK	R5.3	選択	データ科学アルゴリズム設計・解析演習	③	一身上の都合により退職
				必修	研究実習	①	
11	助教	坂田 優希	R5.3	選択	生命有機化学演習	③	一身上の都合により退職
				必修	研究実習	①	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
11	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	12 科目	選択	7 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	29 科目	計	21 科目	計	7 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 ・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
該当なし							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
11	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	12 科目	選択	7 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	29 科目	計	21 科目	計	7 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{11}{76} = 14.47\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

11 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計						後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>辞任した教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に説明を行った。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究科委員会 2. 生命理工医療科学研究科運営委員会 3. 生命理工医療科学大学院教務委員会 4. 研究科教育委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究科委員会 原則月1回開催（8月を除く） 次の教員が参加している。 (1) 医歯学総合研究科長（以下「研究科長」という。） (2) 医歯学総合研究科副研究科長 (3) 各系研究科運営委員会の議長 (4) 各学部長 (5) 各附置研究所長 (6) 研究科長が必要と認める各専攻の講座から教授1名以上 2. 生命理工医療科学研究科運営委員会 原則月1回開催（8月を除く） 次の教員が参加している。 (1) 生命理工医療科学の専門領域の分野の教授及び分野を代表する准教授。 (2) 研究科運営委員会の議を経て、各系の分野の准教授及び講師を加えることができる。 (3) 特に必要があると認めるときは、各系研究科運営委員会の議を経て、前2項に定める者以外の本学の教授、准教授及び講師を加えることができる。 3. 生命理工医療科学大学院教務委員会 原則月1回開催（8月を除く） 次の教員が参加している。 (1) 医歯学総合研究科副研究科長（博士課程生命理工医療科学専攻） (2) 生命理工医療科学研究科運営委員会構成員 6名 (3) その他委員長が必要と認める者 若干名

4. 研究科教育委員会

原則月1回開催（8月を除く）

次の教員が参加している。

- (1) 大学院医歯学総合研究科医学系研究科運営委員会から選出された教授 3名
- (2) 大学院医歯学総合研究科歯学系研究科運営委員会から選出された教授 3名
- (3) 大学院医歯学総合研究科生命理工医療科学研究科運営委員会から選出された教授 6名
- (4) その他委員長が必要と認める者 若干名

c 委員会の審議事項等

1. 研究科委員会

- (1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成に関する事項
- (4) 学生の退学、転学、留学、休学及び復学に関する事項
- (5) 学生の懲戒に関する事項
- (6) 学生交流協定（国内の教育研究機関と締結するものを除く）の締結に関する事項

2. 生命理工医療科学研究科運営委員会

研究科委員会の審議事項のうち各系の共通の事項及び専門領域に関する事項。

3. 生命理工医療科学大学院教務委員会

- (1) 学生の教育に関すること。
- (2) 学生の身分に関すること。
- (3) 各種奨学金及び国費外国人留学生の推薦に関すること。
- (4) ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントの選考に関すること。
- (5) 履修要項の作成に関すること。
- (6) その他委員会が必要と認めたこと。

4. 研究科教育委員会

- (1) 教育方針及び教育方法に関すること。
- (2) 教育課程及び履修に関すること。
- (3) 授業計画に関すること。
- (4) 履修要項等の作成に関すること。
- (5) 学生の履修指導に関すること。
- (6) 研究科年報の編集に関すること。
- (7) その他教育に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

（工学系）

生体材料工学研究所の教職員FDにあわせて生命理工学系専攻所属の教員FDを実施した。
生体材料工学研究所の研究力や現状、及び教育の状況について講演が行われた。

（理学系）

難治疾患研究所の教職員FDにあわせて生命理工学系専攻所属の教員FDを実施した。
2022年度は、①全学の取組、②2名の学外講演者による講演並びに質疑応答（演題1「研究公正：研究環境の大きな変化を考える」、演題2「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインの策定と大学における次世代研究基盤戦略のあり方」）、③研究費の執行にかかる注意喚起について、④2021年度及び2022年度プレスリリースの研究成果報告会、⑤難治疾患研究所に新たに赴任した新任教授による「先端研究セミナー」を実施した。

（保健学系）

保健衛生学科FDを保健衛生学研究科と合同で毎年度実施し、年度ごとに設定したテーマについて、講師の講演と質疑応答による研修を行っている。
2022年度テーマ 「発達障害を含む学生の多様性への教員の対応」

（口腔保健学系）

統合教育機構と連携して、歯学教育モデルコアカリキュラムの改訂をはじめとした歯学部における重要な変革期において、最新の歯科医学教育に関する情報、新たな歯学教育の時代に向かう価値観を教職員間で共有するために、Web classを用いての事前学習の上で、参加者の経験をもとにしたグループワークを行った。

b 実施方法

(工学系) 生体材料工学研究所教授会により企画・実施している。

(理学系) 教員によって構成されるFD実行委員会が企画・実施している。

(保健学系) 教員によって構成されるFD委員会が企画・実施している。

(口腔保健学系) 遠隔演習 (Zoom) 及びWeb classを用いた事前学習、対面研修 (座学での講義、グループワーク)

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

(工学系)

2022年12月20日実施 参加状況: 47名
生命理工医療科学専攻の工学系の助教以上の教員、事務職員が参加している。

(理学系)

2022年12月23日実施 参加状況: 91名
生命理工学系専攻に所属する助教以上の教員、難治疾患研究所に所属する教職員並びに大学院生が参加している。

(保健学系)

2023年1月25日実施 参加状況: 45名
生命理工医療科学専攻の保健学系の助教以上の教員、事務職員が参加している。

(口腔保健学系)

2023年3月10日、11日実施、参加状況: 31名 (うち口腔保健学系4名)
歯学部 (歯学科・口腔保健学科) 科目責任者・事務職員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善への取組は令和5年度以降に着手する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年1回程度実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

各委員にアンケート集計結果を報告し、要望事項等に対する対応を検討した上で、対応策とともに各研究科運営委員会にて教員に報告し、ホームページで学生に公開予定。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員の充足率やカリキュラムの実施状況、教員充足率が十分であることから、設置の趣旨・目的を達成していると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年6月末頃公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。